

KUMAGAYA SOUTH Rotary Club of Saitama RI Dist. 2570



2010. 10. 27



President : Naoki Takada
Secretary : Tomoko Uetake
Hotel Garden Palace
Sayada3248-1 Kumagaya shi

No. 15

Ray Klingensmith
RI President, 2010-11
Bujuro Nishikawa Gouverneur
RI Dist 2570

第614回例会 会報



合同例会



北国では降雪もあり、秋が無いのか真冬のような寒さが身に沁みますが、熊谷東ロータリークラブとの合同例会で大勢の方にご参加して頂き熱気に溢れていました。



久々にホールが会員で一杯でした！



さすが親子クラブ息の合った点鐘！！

本日のプログラム 11月10日(水)
親睦例会

会長挨拶

会長 高田 直樹

今日は親クラブであります熊谷東ロータリークラブの皆様との合同例会となります。親クラブの皆様には日頃よりご指導、ご協力をいただきましてありがとうございます。本日、この例会の中でもさらなるご指導と共に会員の皆様の一層の親睦が図られます様宜しくお願い申し上げます。

また今月は米山奨学月間ですので、地区より米山奨学部門委員長大澤衛様にお越し頂きまして、私共南クラブが世話クラブとなっております米山奨学生金善花さんによる卓話をお願いしております。大澤

様、金さんどうぞ宜しくお願い致します。

米山奨学金には「世話クラブ、カウンセラー制度」というものがありまして、奨学金による経済的な支援だけではなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。1人の奨学生に対し一つのロータリークラブが「世話クラブ」となり奨学生は世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流、相互理解を深めると共に、ロータリーの奉仕の心を学んで頂くということです。

今日は限られた時間の中での卓話ですが、この卓話を通じて、奨学生に対するより一層の理解を深めることが出来ます様に、そして奨学生の皆様はやがて国際社会で活躍できます様にご期待申し上げて、

私の挨拶と致します。

幹 事 報 告

幹事 植竹 知子

1. 地区より
 - *国際ロータリー第2570地区 (埼玉) ガバナーエレクト 事務所開設のご案内
 - *11月のロータリーレート 1ドル＝82円
 - *学友会ニュース第145号
 2. 熊谷市より
 - *第18回外国人による日本語スピーチコンテストの御後援及び御協賛について (お礼)
 - *第29回コミュニティ活動実行賞表彰式について (御案内)
 - *平成22年度熊谷市文化功労者・教育関係職員表彰式開催のご案内
 3. 金善花さんより
 - *お礼状
 4. ロータリー米山記念奨学会より
 - *ハイライトよねやま128
- 以上が届いております。

金善花様卓話

皆さん、こんにちは。熊谷東クラブの会員の皆さん、ようこそいらっしゃいました。

中国から参りました金善花と申します。奨学金の金に、親善の善とお花の漢字を書きます。「ロータリー米山記念奨学金」のお陰で、咲かせていただいた親善のお花だと思っていただければ、幸いです。

「中国から来たのに、金さんだよ」と不思議に思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、私は中国の朝鮮族です。

皆さんよくご存知と思いますが、中国には56の民族があります。その中で漢民族が主流となって94%を占め、そのほかには55個の少数民族となっています。少数民族の一つになっている朝鮮族は、殆どが今の韓国や北朝鮮から中国に渡っていったと言えます。私の家族の場合は、祖父が今の韓国の「カンエョンド」から、中国の遼寧省と朝鮮半島の境目にある「鴨緑江」を渡って中国へ来たそうです。小さい頃、韓国にいる祖父の兄弟と何回か連絡を取ったことがあ

ったという話を聞いたこともあります。おそらく中国で生まれた韓国人と説明すれば分かりやすいかもしれませんが、家は父から中国で生まれ育ったので、当然のことですが、私も中国の黒龍江省で生まれました。

黒龍江省は、中国で一番北にある省で、日本と言えば北海道のような一番寒いところです。北部はアムール川 (黒竜江) をはさんで、東はウスリー川を隔ててロシアと国境を接しています。1986年に日本の北海道と友好関係を結び、その提携を記念した「友好提携記念碑」は北海道開拓記念館に建てられているそうです。(写真)

黒龍江省の省都—「哈尔滨」(ハルビン) は約100年前、ロシア人によって街づくりされたので、バロック風の建物が多く、とてもロマンチックな雰囲気が漂う町で「東方のパリ」とも呼ばれています。(写真)

ハルビンは面積が331平方キロメートルで、都市圏人口は475万人の大都市です。冬が寒くて「氷の町」とも呼ばれていますが、1月の平均気温は-18.6℃と世界の大都市の中では最も寒い部類に入ります。朝の最低気温は平均で-23.9℃にまで下がることがありますが、最近は地球温暖化によって、それほど下がっていないようです。

ハルビンというと、一番有名なのは断然「氷祭り」です。うわさによると、「氷の祭り」へ行って、氷で彫刻したハウスに入るとカメラも凍ってしまうというそうですが、ちょっと大げさです。(写真)

次、ハルビンを代表する歴史的な大通り—「中央通り」という歩行者天国です。全長1450m・幅21.34m (内、車道の幅は10.8m) で、アジア最大の石畳の通りと呼ばれています。面白いことに、敷かれている個々の石は、ロシアのパンの形をしています。この道をはさみ、ヨーロッパ風、ルネサンス式、バロック式、折衷式など中国でも珍しい多種多様な保護建築がたくさんあります。夜はライトアップされ、遅くまで多くの人でにぎわいます。

皆さん、機会があったら、ぜひ、遊びにいらしてください。

古里の写真をたくさんみると、懐かしくて帰りたい気持ちで一杯です。この写真は私の母校—黒龍江大学、この写真は大学を出て働いていた大学です。大学で日本語を教える仕事が好きだったので、ずっと続けていくためには、もっと勉強しておかなければならないと思って、2008年10月、日本に参りました。

日本に来て、一番びっくりしたことは、日本にカラスが多いことでした。中国では殆どカラスが見られなく、いるとしても田舎にしかいないのです。日本のカラスについては、大学で勉強した芥川龍之介の作品「羅生門」に出てくるカラスの覚えしかなかったのですが、昔でもない現在の日本で、毎日カラス

が見えることは、本当に不思議でなりませんでした。今はもう見慣れていて、これは日本人が大自然に親しむことの表現だと、勝手に思っていました。

もう一つ気になったことは、日本のワンちゃんは本当に幸せだと思われたことです。まずは、飼い主にかわいがられ、家族のように扱われるということは言うまでもなく、晴れた日は、ワンピースを着せませす、雨の日にはレインコードを着せませす、汚れたらクリーニングに出します、出かける時は専用車に乗ります、本当に普通に幸せですね。ワンちゃんがこのように大事にされているのは、大自然だけではなく、ペットとも親しむ日本人だからだと思っていました。自分の経験を通して、こんな考え方が違っていることに気がつきました。

日本に来て一ヶ月が経ち、半年が経って、一年が経つうちに、自分が今まで蓄えてきた日本語があまり使えないことに気がつきました。駅へ行っても、病院へ行っても、買い物に行っても、分かりやすい案内があるかと思えば、各国の言葉で対応できるセルフサービスもたくさんあって、日本語を使わなくても、できなくても、日本での生活は全然問題なかったです。日本は生活しやすい便利な国ですが、そのお陰で、一日に一言も日本語を話さない日が増えてきたことに気がつきました。人と言葉を話す日ごろのコミュニケーションがだんだん少なくなり、日本は本当に人間関係が薄いところだなと寂しい思いをしたことがありました。そして、こんな時ペットでも飼って、友達になってほしいなあと思ったこともありました。あの時、初めてペットと一緒に出かけている人の大部分がお年寄りであったことに気がつき、「なるほど…やっぱり、人は友達が必要だ、コミュニケーションが大事なんだなあ」と思いました。

日本の家族を一つの単位で考えてみると、割と独立した意識・考えを主張する西洋の影響を受けたというか、親と子供の間の絆があまり感じられないような気がします。

では、次のアンケート調査を見て見ましょう。

これは、岡山県吉備国際大学の斉藤清三教授が日本・韓国・中国・フィリピンの4カ国の大学生及び大学院生1200人を対象に行ったアンケート調査（1999年）です。「親の介護が必要になった時に、一緒に住んで親の世話をする」とこたえたのが一番多かった国はどこ？

結果：1位 韓国（80%）； 2位 中国（75%）； 3位 日本（47%）

驚くことに、日本は47%しか占めていなかったのである。

又、次の「世帯構成図」と「近所の人たちとの交流」をご覧ください。（図）

もちろん、これに全部反映されているとはとは言えませんが、確かに日本社会でコミュニケーションが少なくなっていることは、現状だと思っています。

誰でも、いくら偉いといっても自分一人では、この世界を甘く生きていくわけではありません。誰にも友達が要ります。しかも、常に人とのコミュニケーションを通じて、交流を深めていかなければならないと思います。コミュニケーションをすることによって、まずは一番近い人つまり家族との大事な絆が感じられ、そこからエネルギーをたくさんもらえらると思います。さらに、周りの人と交流を深めることによって、人と人の心の距離を近づけ、共になる友ができます。みんな友達になると、この世界はなんときれいになるのでしょうか。

ラッキーなことに、私は「ロータリー米山記念奨学生」となって、ロータリーアンの皆さんと心の通じた交流を深めることになりました。中国で一番寒いところから日本で一番熱いところ——熊谷に来て、会員の皆さんと熱い交流をすることができて、いつも温泉に入ってるようです。これからも、交流をどんどん深めていきたいと思っています。

本日は、せっかく熊谷南クラブの親クラブである熊谷東クラブとの合同例会になっておりますが、この機会を通して、熊谷の「親子」クラブのコミュニケーションがどんどん進み、お互いの交流を深めたいなあと願っております。

皆さんとの奨学生としての付き合いは後、五ヶ月しか残っていませんが、これからも皆さんとの交流をもっと深めて、後国へ帰って、ぜひ、日本での貴重な思いでを周りの人にお伝えしたいと思っています。

これからも、よろしくお願いたします。ありがとうございました。



現代日本の高齢社会や家族の在り方、大変勉強しています。

委員会報告

第2回会員増強セミナープログラム

開催日 10月23日(土)

会場 嵐山町 国立女性教育会館2階会議室
会員増強副委員長 棚澤 正行

東RCの皆様、いつもお世話になっております、今日は宜しくお願いたします。

岡部委員長の代理で会員増強セミナーに行ってきました。

最初に感じたのは、南クラブの会員が3人も上座に鎮座している事にうちのクラブは地区に貢献しているな～という事でした。

西川ガバナーの点鐘で始まり、佐川広報記録副委員長のソングリーダーの下「奉仕の理想」を唱和しました。

ガバナー、パストガバナー、エレクト、部門委員長と挨拶が続き、最新の会員増強の報告が山口会員増強委員長からありました。この報告が一番長かったです。

その後、基調講演が加藤玄静パストガバナーからありました。

内容としては、規定審議会でEクラブが各地区2つまではOKになった事や、一業種5人までOKというような時代の流れについて、また入会の基準が、「会費が払えてまあまあならいいだろう」というように各クラブ基準が甘くなってきたという事などの現状など、また新入会員のセミナーをやるべきであるという事など。

この時、澤田ガバナー補佐を指して「入会したての時に顧問はおりましたかか？」と質問していましたが、澤田補佐はたじろがず答えていました。

休憩をはさみ、「会員維持の取り組みについて」という題目の下各部屋に分かれディスカッションをして、大会議室に戻り、発表となりました。

お帰りになった方が多く、大会議室での私のグループは2人だったので3グループで小会議室に移動して6名の討議となりました。

この部屋は、12人位のクラブが多く、項目が当てはまらないので雑談をまとめたかたちで発表しましたが、どこのグループからもでている「炉辺会合」が大事で、ここで新入会員の勉強や親睦を全員でやっているという事でした。

また平均年齢が70歳近くのクラブが2クラブあり、そこでは高い平均年齢のメンバーをどうやって次世代のメンバーに繋げていくかが問題であるとの事でした。

うちのクラブは、若いメンバーが多いのであまり感じた事が無かった部分を教えられました。

常に新入会員が入会してくる体制が切れると、こういう事が起きてくるので、会員増強の大切さを勉強した一日となりました。

以上

☆米山奨学部門（大澤部門委員長）一言



☆直球勝負！寄付をお願いします。

● 出席報告

例会日 10月27日

会員数	出席	欠席	MU	出席率
28	15	8	5	71%

お客様：米山奨学生 金善花様

地区米山奨学委員長 大澤衛様

● ニコニコBOX

高田直樹会長・植竹知子幹事

熊谷東ロータリークラブの皆様、本日の合同例会よろしくお願ひ致します。地区より米山奨学部門委員長、大澤衛様ご来訪ありがとうございます。本日は宜しくお願ひ致します。そして金善花さん卓話楽しみにしていますよ。

棚澤 正行会員

本日の合同例会、東クラブの皆様宜しくお願ひします！大澤衛・米山奨学部門委員長ようこそ合同例会にお越しくださいました。また、金善花さんという、特に素晴らしい奨学生を南クラブにお預け頂き、会員一同誇りに思っております。有難うございます。金さん、今日の卓話特に宜しくお願ひしま～す(∩^∩)／

山口茂会員

米山奨学部門委員長の大澤衛様、金善花様、本日は遠路ありがとうございます。本日の卓話楽しみにしております。東クラブ細川会長、高橋幹事、親クラブとの合同例会、本日は大変楽しみにしております。

岡部俊之会員

東ロータリークラブの皆様いつも大変お世話になっています。協の金善花さんの卓話楽しみに一緒に聴きましょう。

島崎次弘会員

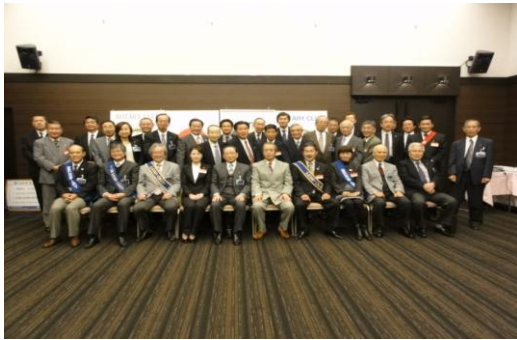
東クラブの皆さん、本日の合同例会よろしくお願
いします。金善花さん、卓話楽しみにしています。
ガンバッテネ。

加藤博会員

本日は、合同例会に細川会長様、高橋幹事様、当
クラブの清水代表様、お忙しいところご出席いた
だきありがとうございます。金善花さん卓話よろ
しくお願ひ致します。

馬場孝会員

皆様こんばんは。東クラブ、細川会長はじめ親ク
ラブの皆様、本日は楽しみにして参りました。宜
しくお願ひ致します。



最後に全員で記念撮影

熊谷南ロータリークラブ

会報・広報 (IT) 委員会 佐川順一・石井一則

TEL 048-522-6143 FAX 048-522-6153

E-mail: ksr@kumagaya-south-rc.com

<http://kumagaya-south-rc.com/>